

第12回「JTB交流文化賞」を募集

第11回

最優秀賞



げんかいしゅうらくかんこうりっくく 元快集楽歡交立克 世界棚田連邦をめざして

あいだうえやまたなだん
NPO法人 英田上山棚田団
(岡山県美作市)

美作市上山に定年後移住した元商社マンとその息子らが、かつての棚田を手作りで再生。村人の協力の輪も広がり、ブランド米販売や活動記録出版、祭りの復活、台湾の棚田との提携など進化を続ける。交流、定住人口の増加や、景観の再生や文化の継承にもつながっている。棚田の復興だけでなく、ブランド米や酒などの商品づくり、環境に配慮した二次交通や宿の整備など、ダイナミックで質の高い取り組みで、感動した。移住した人が子供を産むなど「田舎」の復活につながっており、移住促進の成功事例として、評価できる。

優秀賞

留学生スキーインストラクター 「おもてなしスノーレンジャー」 育成プロジェクト

北海道のスキー文化の発展と
ローカススキー場の存続と活性化のために
NPO法人 おもてなしスノーレンジャー
(北海道札幌市)



優秀賞

漁師が帰りたいくなる港へ 気仙沼つばき会による 女性目線の観光・まちづくり 気仙沼つばき会(宮城県気仙沼市)



持続的な交流の創造と 地域の活性化を支援・推進

JTBは1日から「第12回JTB交流文化賞」の募集を開始した。組織・団体部門では、交流の創造により地域活性化を目指す「持続可能な取り組み」を求めている。

JTB交流文化賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的として、2005年に創設された。

組織・団体部門は、国内外を問わず、地域として地域固有の魅力や、出・需要の創造、地域活性化、双方の文化交流を、オリジナリティを有した文化・交流を、2005年に創設された。

組織・団体部門は、国内外を問わず、地域として地域固有の魅力や、出・需要の創造、地域活性化、双方の文化交流を、オリジナリティを有した文化・交流を、2005年に創設された。

組織・団体部門は、国内外を問わず、地域として地域固有の魅力や、出・需要の創造、地域活性化、双方の文化交流を、オリジナリティを有した文化・交流を、2005年に創設された。

組織・団体部門は、国内外を問わず、地域として地域固有の魅力や、出・需要の創造、地域活性化、双方の文化交流を、オリジナリティを有した文化・交流を、2005年に創設された。

組織・団体部門は、国内外を問わず、地域として地域固有の魅力や、出・需要の創造、地域活性化、双方の文化交流を、オリジナリティを有した文化・交流を、2005年に創設された。

第10回

最優秀賞

集落人口2人!! 限界集落の挑戦

小原ECOプロジェクト(福井県勝山市)



福井県勝山市小原集落は自然に囲まれた限界集落。住民がたった2人というショッキングな状況にめげず、古民家を修復した農家民宿を交流拠点に、地元大学・周辺住民らと観光振興に取り組む。交流人口年間1200人以上を目標に、農村文化、動植物の生態系、地形などを資源とした多様なエコツアーを提供している。

優秀賞

自転車旅行を支えるおもてなしのしくみ 「サイクルオアシス」

特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ(愛媛県今治市)

優秀賞

七尾山の寺の日 「等伯と山の寺千年史」

七尾山の寺地振興会(石川県七尾市)

第9回

最優秀賞

線路よ響け!! いつまでも レールマウンテンバイク「Gattan Go!!」

NPO法人 神岡・町づくりネットワーク
(岐阜県飛騨市)



馬車軌道から始まった神岡鉄道は、2004年の廃線まで飛騨神岡地域の歴史そのものであった。地域の人々にとっては廃線を交通近代化の結果とあきらめるわけにいかず、地域の歴史である軌道を守ることへこだわり、地元有志のアイデアと熱い思い、地元企業のモノづくりの精神がレールマウンテンバイクを生み出した。

優秀賞

八女の町家で暮らそうか? 町並みの輝きを再び取り戻す人々の挑戦

八女文化遺産保存・活用ネットワーク(福岡県八女市)

優秀賞

負の遺産を町の宝に! 「尾道空き家再生プロジェクト」

NPO法人 尾道空き家再生プロジェクト(広島県尾道市)

第8回

最優秀賞

「花嫁のれんのまち」のと・七尾一本杉通り 「語り部処」でふれあい「茶の間の観光」

一本杉町町会(石川県七尾市)



旧加賀藩下に幕末から伝わる婚礼の風習、「花嫁のれん」をテーマに、衰退しつつある商店街の活性化を進めた。毎年9年間開催している「花嫁のれん展」で好評な「語り」を楽しむ「語り部処」を各店舗につくり、名古屋・東京・関西地区で「語り」と合わせた「花嫁のれん展」を開催するなど、進化し続けている。

優秀賞

祖先の痕跡が残る空間 「ガンガラーの谷」守るために価値を伝える

株式会社南部(沖縄県南部市)

優秀賞

学生ボランティアが運営する 新今宮観光インフォメーションセンター

阪南大学国際観光学部松村嘉久研究室(大阪府松原市)

第5回

最優秀賞

小さな町に大きな図書館ができてから…… 演劇の町、交流の町になりました。 さらに姉妹館ができました。

遅筆堂文庫生活者大学校(山形県川西町)



山形県南部に位置する「川西町」は作家井上ひさしの生まれ故郷の小さな町。同氏との交流によって開かれた「遅筆堂文庫生活者大学校」は、地域の文化、農業の交流発信の拠点。同氏が寄贈してきた21万冊の蔵書を持つ「遅筆堂文庫」という地域図書館や「こまつ座」による演劇の公演など、20年以上に渡り継続している。

優秀賞

外国人旅行者に京都から日本の魅力を発信!

有限会社ワックジャパン(WAK JAPAN)(京都府京都市)

優秀賞

世界に向けた田辺の挑戦 ～外国人に優しいまちづくり～ 持続可能な世界標準の観光地をめざして

田辺市熊野ツーリズムビューロー(和歌山県田辺市)

第7回

最優秀賞

漁師の暮らし体験が地域を再生する 「番屋エコツーリズム」

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
(岩手県下閉伊郡田野畑村)



地域の伝統的な生活様式である「番屋」を体験観光のソフトとして活用し実績を積んできたが、今般の震災で多大な被害を受けた。その影響がまだ後を引いている中で、被災地見学、防災教育という新たな体験の視点を加え、果敢に地域の人々の手による着地型観光をいち早く復活させた熱意と思いに敬意を表したい。

優秀賞

何もないけど何かある…… 無人駅を、ひとのあつまる場所に。

JR下灘駅フィールドミュージアム運営委員会(愛媛県伊予市)

優秀賞

若者に伝えたいんや!! 町工場のおちゃんが熱く語る 「モノづくりの心」

一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会(大阪府東大阪市)

第6回

最優秀賞

田舎づきが大好き!! 「若狭三方五湖わんぱく隊」が「地域の誇り」へ

一般社団法人 若狭三方五湖観光協会
(福井県三方上中郡若狭町)



高齢化に悩む地域の漁業従事者の、「漁師としての仕事、生業の海を子供達に伝えたい」との思いから、1990年に漁業体験学習の受け入れが始まった。行政や外部主導の取り組みでなく、あくまで地域の人の手により立ち上げ、しかもビジネスとしての自立を当初から目指したことが今日まで継続できたことの要因と言える。

優秀賞

日帰り農村生活体験：ほっとステイ

株式会社 信州せいしゅん村(長野県上田市)

優秀賞

交流は地域との連携から ～地域資源は誰のもの?～

一般社団法人 信州しいやま観光局 なべくら高原・森の家(長野県飯山市)

優秀賞

市民創作「函館野外劇」

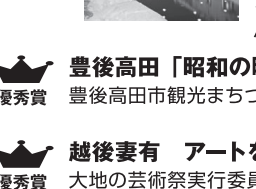
NPO法人 市民創作「函館野外劇」の会(北海道函館市)

第2回

最優秀賞

「ハットウ・オンパク」を通じた 地域資源開発と町づくり

NPO法人ハットウ・オンパク(大分県別府市)



豊後高田「昭和の町」物語
豊後高田市観光まちづくり株式会社(大分県豊後高田市)

優秀賞

越後妻有 アートをみちしるべに里山を体験する旅

大地の芸術祭実行委員会(新潟県越後妻有地域)

特別賞

ジョイントで取り組む農と心の教育体験

～安心院型グリーンツーリズムの新たな展開～
大分県宇佐市

第1回

最優秀賞

コウノトリも暮らすまちへ 豊岡の挑戦

兵庫県豊岡市企画部コウノトリ共生課
(兵庫県豊岡市)

優秀賞

「究極のグリーン・ツーリズム」を標榜する達者村

青森県名川町観光振興課(現南部町)(青森県南部町)

優秀賞

新潟最北の城下町「村上」明日をかけた市民まちづくりの挑戦

新潟県村上町屋商人(あきんど)会、チーム黒旗プロジェクト、むらかみ町屋再生プロジェクト(新潟県村上市)

特別賞

「YOSAKOI ソーラン祭り」

～新しい交流文化の創造とその広がりを～
北海道札幌市 YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

第12回

JTB交流文化賞 募集中!

応募締め切り

2016.9.15(木)

JTB交流文化賞は、地域に根ざした持続的な交流の創造と各地域の魅力の創出、地域の活性化に寄与することを目的として、2005年に創設され、毎年開催しています。第12回を迎えた今回も各地における観光振興に対する斬新な取り組みや、実際に体験した交流文化の事例を募集・選定・表彰するとともに、受賞地域を様々なかたちでバックアップして参ります。多くの皆様のご応募を心よりお待ちしております。

交流文化賞 組織・団体部門

JTBは、地域の観光交流・地域活性化の取り組みを支援・推進いたします。



「わが“まち”に誇りを持つために」

地域活性化の活動は、従来から地域に生き続けていた自然や文化、歴史などの価値を損なうことなく、地域が持つ豊富な知恵や特性を存分に活かしたアイデアを盛り込むことが重要です。等身大のまちの姿をありのままに伝えながら、まち全体でもてなす工夫を見つけた時、旅行者に新鮮な感動を与えられ、地域の皆様はわが“まち”に誇りを感じられることでしょう。そんな地域の取り組みを教えてください。JTB交流文化賞は、新たな発想による地域活性化の取り組みを応援します。

募集内容

名称	交流文化賞 組織・団体部門	応募様式	指定の応募用紙
対象	組織・団体	最優秀賞	1作 賞金100万円
テーマ	国内外を問わず、地域として、地域固有の魅力の創出・需要の創造、地域活性化、双方向の文化交流など、オリジナリティを活かした「持続可能な観光」の取り組み事例を募集します。 ※前回応募いただいた取り組み事例も応募いただけます。 但し、過去に受賞された取り組み事例は対象外です。	優秀賞	2作 賞金50万円

交流文化賞 一般体験部門

交流文化賞 ジュニア体験部門

旅の体験記を募集
(一般個人対象)

旅で発見! 旅で感動!
(小学生・中学生対象)

目で見ただけでは物足りない。五感で感じて触れあった旅の体験ほど、心に深く刻まれて人生での大きな糧となるでしょう。著名な観光地を訪れるだけではなく、自らが見つけて、知って、交流するという能動的な旅のスタイル。交流文化賞体験部門では、旅を楽しむあなたの、人とのつながりやふれ合いから生まれたエピソードを募集しています。

募集内容、応募要項など詳しくはホームページをご覧ください。

第12回 JTB交流文化賞 選考委員



郵送またはインターネット*でご応募いただけます。

詳しくはホームページをご覧ください。

*交流文化賞 ジュニア体験部門は郵送のみ受付

JTB交流文化賞

検索

お問い合わせ先

JTB交流文化賞事務局(株式会社JTB総合研究所内)

TEL.03(6722)0757(10:00~17:30 土・日・祝日休み)
FAX.03(6722)0753 e-mail: jtb-kbunkasho@tourism.jp

JTB
感動のそばに、いつも。